



釧路森林資源活用円卓会議 プレスリリース 令和4年10月7日

<事務局> 釧路市産業振興部農林課
085-8505
釧路市黒金町7丁目5
<http://www.city.kushiro.lg.jp/sangyou/nourin/ringyou/tiiki/cat00000886.html>

くしろ「木づな」プロジェクト

「道民森づくりの集い 2022」（北海道・木育フェスタ 2022）に出展

【概要】

くしろ木づなプロジェクトでは、地元産木材の利用推進や、森林資源の循環利用の普及啓発を目的として、サッポロさとらんどで開催された「道民森づくりの集い 2022」に地域材を使ったえんぴつ作り体験などの出展を行いました。

（主催 北海道、北海道森林管理局、札幌市、(公社)北海道森と緑の会）

- 日時 令和4年10月2日（日）10:00～15:00
- 場所 サッポロさとらんど（札幌市東区）

【実施内容】

会場では森の楽しさを伝える内容として、各出展団体が工夫を凝らした木工ワークショップやパネル展示、スタンプラリーなどが行われました。くしろ木づなプロジェクトでは、子どもをはじめとするすべての人が『木とふれあい、木に学び、木と生きる』木育を感じていただくため、木づなえんぴつ作り体験などを提供しました。

芯を入れてボンド付け、カンナ掛け、仕上げにえんぴつを削るところまで一通りの作業を体験いただき、初めて触るカンナにも徐々に慣れてきて、自分オリジナルの形に完成させたえんぴつに愛着を持っていただけたと思います。最後は作ったえんぴつでアンケートにも記入いただき、普段のえんぴつとは違う「手触りが良い、書きやすい」などの感想をいただきました。

この他にも、くしろ木づなプロジェクトの取組を紹介したポスター展示や釧路のカラマツで作った遊具「くしろカラマツカーリング」や「くしろカラマツシューティング」などを自由に体験いただき、子ども達に大人気でした。

イベント全体で約1,200名の皆様にご来場いただきました。くしろ木づなプロジェクトでは、このようなイベントを通じて幅広い世代への木育や地域材利用拡大に向けて、今後も取組を引き続き進めていきたいと考えています。



ブースの様子



えんぴつ作り



えんぴつ作り



えんぴつ作り



えんぴつ作り



木製遊具

<釧路森林資源活用円卓会議>

釧路市は、2005年(平成17年)の3市町合併により、森林面積は約10万ha(全道の市で1位)。まさに釧路市は「森林都市」。「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を2010年(平成22年)11月設置しました。これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

釧路市産業振興部産業推進室
(担当)澤田 卓也

TEL : 0154-31-4550
FAX : 0154-22-8972